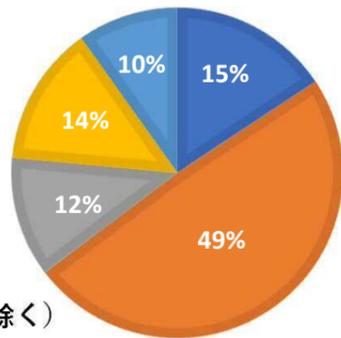


○計画全体のR5年度末KPI状況

■◎120%以上 ■○100～119% ■△80%～99% ■×79%以下 ■設定なし



KPI 状況

全51項目（再掲除く）

●重要業績指標(KPI) の状況 全51項目(再掲除く)

- ・R5年度末時点での目標を達成している項目が33項目（[120%以上達成]が8件、[119～100%以上達成]が25件）で、全体の64%となった。
- ・一方、R5年度末時点での目標を達成していない項目は13項目（[99%～80%以下]が6件、[79%以下]は7件）となった。
- ・なお、R5年度に指標の設定がないものが5項目あった。（R6年度以降の設定のため、またはR4年度で事業完了のため）

●R5年度の進捗状況

- ・橋梁の改修工事や道路舗装補修等が目標以上に進み、道路の災害対応力の強化が図られた。
- ・地域での防災訓練や防火講習会、出前講座等が積極的に実施され、防災教育の推進が図られた。
- ・空き家の除去や住宅等の耐震診断件数については伸び悩んでおり、更なる制度の周知や啓発の促進を図る必要がある。
- ・看板等の付帯工事を完了し、基幹的な地域交通ネットワークの拠点となる越前たけふ駅周辺の整備が概ね完成した。

○施策の重点化9項目(計画全体では31項目)に関する主なKPI状況及び各取組み成果等について

重点化項目(9項目)	リスクシナリオ	主な推進方針 (再掲を除く56項目中22項目を掲載)	R5年度 主な取組みの成果	R5年度主な重要業績指標の状況 (再掲を除く51項目中17項目を掲載)
重点化項目(9項目)	1-1 大規模地震による建物等の倒壊や大規模火災による多数の死傷者の発生	○住宅・建築物等の耐震化等の促進 ○公共施設等の耐震化等の促進 ○火災につよいまちづくりの推進	・各戸ポスティングで働きかけ、木造住宅の耐震診断11件、耐震改修2件の補助事業を実施 ・通学路の危険ブロック塀7件除却 ・町内集会所の耐震化に対する補助制度の周知を行ったが、申請はなかった。 ・耐震化の設計1件、工事2件を実施 ・延べ516.㎡の建物を削減 ・照明LED化8校1園 ・消防署の長寿命化工事1件 ・ホース乾燥塔の修繕 ・防火チラシを全世帯に配布 ・市広報紙及びケーブルテレビを活用した火災予防広報の実施 ・外国人住民世帯への防火広報 ・防火講習会等の開催1,554回	・住宅等の耐震診断累計件数 R5目標 495件→実績 470件 ・住宅等の耐震改修累計件数 R5目標 86件→実績 84件
	1-2 突発又は広域かつ長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生	○河川改修等の治水対策の推進 ○水防対策の推進 ○洪水ハザードマップの活用	・河川浚渫工事17河川、河川改修2箇所、排水路改修6箇所を実施 ・水防倉庫の更新1件 ・各地区の防災訓練や防災講習で洪水ハザードマップを活用した出前講座を実施 ・この都ネットワークケーブルテレビでの番組を新たに作成し、放送	・河川整備累計延長(小規模) R5目標 4,000m →実績 3,975m ・排水路整備延長(単年) R5目標 100m→実績 264.9m
	1-3 大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生	○土砂災害対策の推進 ○地域防災力の向上 ○防災教育等の推進	・砂防事業完了1河川 ・間伐25.55ha、付帯ネット整備19.9ha ・自主防災組織リーダー育成研修会を開催484人参加 ・避難行動要支援者が参画した避難訓練を実施 ・土砂災害警戒区域の周知 ・外国人市民防災リーダー新認定16名(延べ49名) ・普通救命講習会の修了者数(累計13,752人)	・土砂災害危険住宅の除去・移転・改修累計件数 R5目標 1件→実績 1件 ・間伐面積(単年) R5目標 90ha→実績 48.15ha
	1-4 大雪に伴う道路交通網の麻痺や住宅・建物等の倒壊による多数の死傷者の発生	○道路の除雪体制の強化 ○道路の災害対応力の強化 ○公共交通の安全運行の確保	・消雪設備工事1路線 ・115箇所の水源及び約73.9kmの散水管の点検及び調整業務の実施 ・除雪機械購入補助5台 ・道路舗装補修5路線 ・橋梁の定期点検61橋、改修20橋 ・公共交通機関の運行情報等の集約 ・福井鉄道とえちぜん鉄道において除雪作業合同訓練を実施	・消雪施設整備・保守路線累計延長 R5目標 71.4km→実績 73.9km ・市道除雪累計延長 R5目標 573km→実績 582km
	2-1 被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止	○非常用物資・設備の確保 ○家庭における備蓄の推進	・飲料水の購入 ・食料品の必要数確保 ・その他資機材の購入、更新 ・市政出前講座を活用した家庭での備蓄についての周知啓発・普及	・市政出前講座での普及・啓発件数(単年) R5目標 45件→実績 45件
	2-7 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化、死者の発生	○水道施設の老朽化対策、緊急時の給水の確保 ○避難所等の適切な運営と整備	・水道施設の電気設備や機械設備の更新5施設 ・老朽管更新2地係、約275m ・避難所運営職員への研修、現地確認の実施 ・学校トイレ洋式改修2校	・水道管路の耐震化率 R5目標 8.9%→実績 8.9% ・学校トイレ洋式改修数 R5目標 21/24校→実績 24校/24校
	4-3 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず避難行動や救助・支援が遅れる事態	○情報通信機能の耐災害性の強化 ○効果的な情報提供の推進等	・無線基地局の電源喪失を想定した障害対応訓練を実施 ・庁外からでも利用可能となる組織内情報共有システムを導入 ・MCA無線更新の再検討を行い、運用を変更した。 ・区長や民生・児童委員、相談支援専門員に対する協力依頼 ・個別避難計画の作成について福祉専門職が参画する体制を整えるため、ケアマネージャなど福祉専門職のつなぎ役として関わった。	・耐震施設等へのサーバ等の移転数 R5目標 57%→実績 57% ・避難行動要支援者1人当たりの支援者数 R5目標 0.75人→実績 0.63人
	6-1 ライフライン(電気、ガス、上下水道、通信等)の長期間にわたる機能停止	○ライフライン機能の確保・早期復旧 ○汚水処理施設等の整備、老朽化対策	・福井放送との連携協定に基づき、連絡体制の確認を行った。 ・電力事業者との連絡体制を構築してきたで、停電発生時に迅速な連絡体制が取れた。 ・家久処理区において0.97km、東部処理区において4.33kmの管渠整備の実施 ・接続促進は、下水道未接続の20件の集合住宅オーナーに意向調査を行い、2件のオーナーから接続の意思がある旨回答を得た。	・公共下水道整備率 R5目標 88.8%→実績 89.0% ・公共下水道管路の重要な幹線の耐震化率 R5目標 43.2%→実績 43.5%
	6-3 基幹的な地域交通ネットワークの長期間にわたる機能停止	○輸送ルート、地域公共交通の確保等 ○食料供給体制の強化	・北陸新幹線開業までにすべての付帯工事(看板等)を完成させた。 ・新たに3事業所と応援協定を締結(計12自治体、64事業所・団体)	・市道改良累計延長 R5目標 607km→実績 609.9km